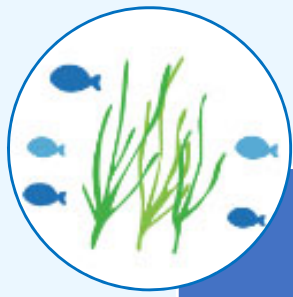


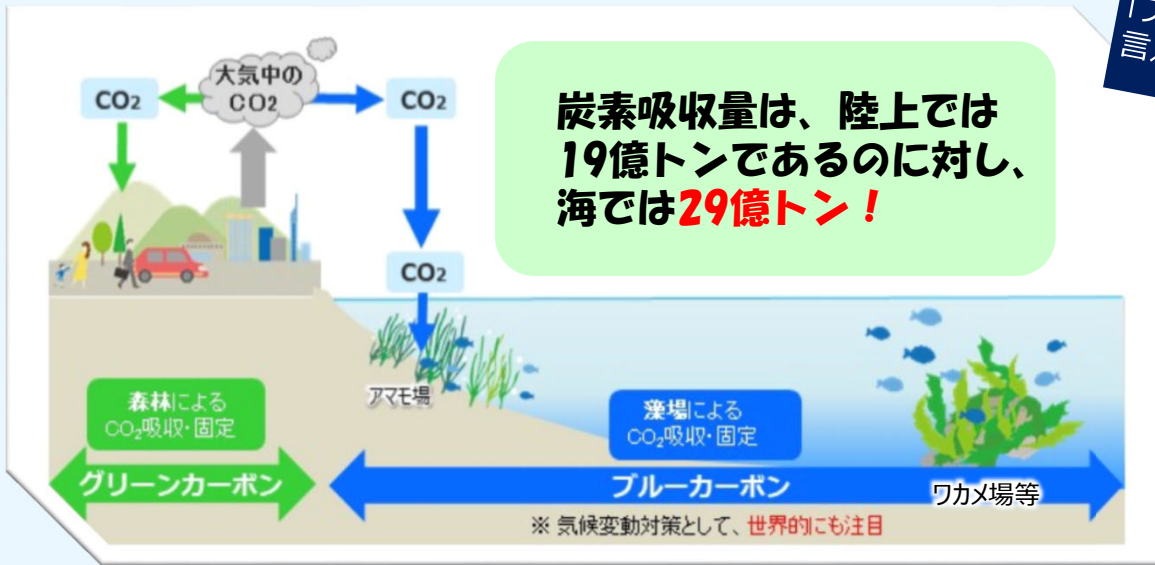
ブルーカーボンと福岡市の取組み



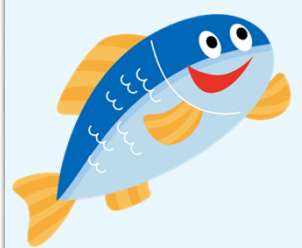


ブルーカーボンとは

植物は、光合成によって二酸化炭素（CO₂）を吸収し、炭素を固定します。森林など陸上の植物が固定する炭素が「グリーンカーボン」とよばれるのに対し、海草や海藻、植物プランクトンなど、海の生物によって海中に取り込まれる炭素は「ブルーカーボン」とよばれ、CO₂の新たな吸収源として世界的に注目されています。



海に囲まれた日本は、まさに「ブルーカーボン」の宝庫と言えます。



また、海水に溶けているCO₂を光合成で吸収・固定し炭素を貯留する働きをもつ生態系を「ブルーカーボン生態系」とよんでいます。

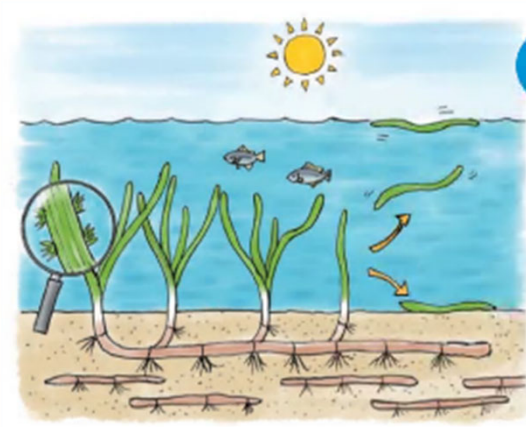
「ブルーカーボン生態系」には、アマモなどの“海草”の藻場、ワカメなどの“海藻”の藻場、そのほか、湿地・干潟やマングローブ林などがあり、それぞれ炭素貯留のメカニズムが異なります。

Pick Up!

海草の藻場の炭素貯留メカニズム



国土交通省港湾局
「海の森 ブルーカーボン」
より抜粋



海底が
巨大な「炭素貯留庫」に

海草の藻場 (アマモ場など)

海草は種子植物で、砂泥質の海底に育ちます。海草や海藻がしげる場所を「藻場」といいますが、海草の代表種であるアマモ類の藻場は、とくに「アマモ場」と呼ばれます。

海草や、その葉に付着する微細な藻類は、光合成でCO₂を吸収して成長し、炭素を隔離します。また、海草の藻場の海底には有機物が堆積し、「ブルーカーボン」としての巨大な炭素貯留庫になっています。密生する海草が水流を弱めて浮遊物をこしとり、網の目のように張った地下茎が底質を安定させているためです。

瀬戸内海の海底の調査では、3千年前の層からもアマモ由来の炭素が見つかり、アマモ場が数千年単位で炭素を閉じ込めていることがわかりました。



福岡市の取組み

自然豊かな博多湾には、干潟や藻場など様々な環境があり、そこにはたくさんの生きものがくらしています。また博多湾は、潮干狩りや海水浴など、人々が気軽に海と触れ合うことができる憩いの場としても利用されています。

福岡市では、このような豊かな博多湾の環境を保全・創造するための取組みを行っています。

そのひとつがアマモを増やす活動“アマモ場づくり”で、市民や市民団体など、たくさんの方々と連携・共働して取り組んでいます。



Check!

博多湾NEXT会議

市民、市民団体、漁業関係者、企業など多様な主体が連携・共働し、《豊かな博多湾の環境を未来の世代に引き継いでいく》ことを目的として設立しました。

アマモ場づくりを中心に、博多湾の環境保全・創造に取り組んでいます。



博多湾NEXT会議 設立総会
平成30年5月31日





アマモ場づくり

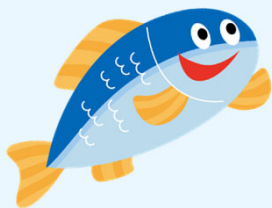
アマモは、浅い海で育ち、花を咲かせて種を作る海の植物です。アマモ場は「海のゆりかご」とも呼ばれ、生きものの産卵場や生息場になっているほか、水底質の改善や地下に根を張って海底を安定させるなどの働きがあります。



「博多湾NEXT会議」では、海域の特徴やアマモ場づくり活動（イベント）への参加者の年齢などに合わせて、苗の移植や種子の散布など様々な手法でアマモ場づくりに取り組んでいます。

また、福岡市では「播種シート工法」という手法を用いたアマモ場の造成にも取り組んでいます。

次のページで、それぞれのアマモ場づくりの手法について、詳しく説明するよ！
誰でも気軽に参加できるものもあるから、是非チェックしてね！



Check!



アマモ場づくりの手法

苗の移植

アマモに実際に触れて苗づくりができるよ！
苗を割りばしで固定して海底に移植するから波で流されにくく、アマモが定着しやすいんだ！



割りばしにアマモの苗をはさみ、海底に植え付けます。

種子の散布

寒天団子で種子を包んで海に投げ込む方法は、とても簡単なので、誰でも楽しく参加できるよ！



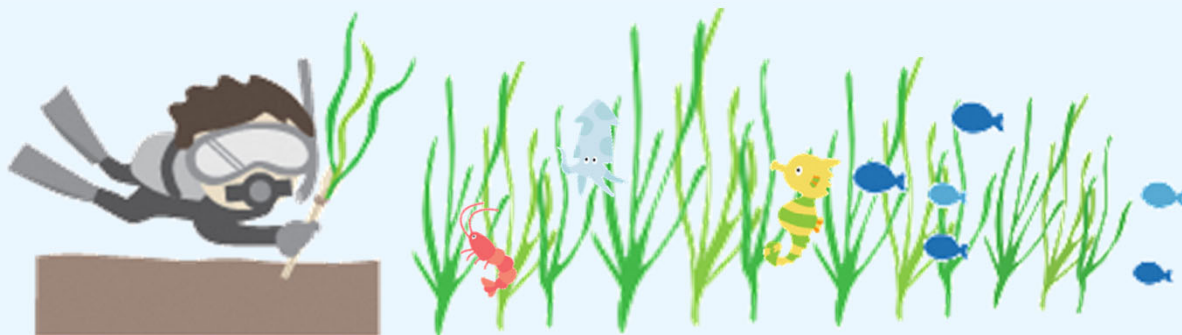
アマモの種子を包んだ寒天団子を海に投げ込みます。

播種シート

大きなシートにたくさんの種子をはさみ込むので、一度に広範囲のアマモ場をつくることができますよ！

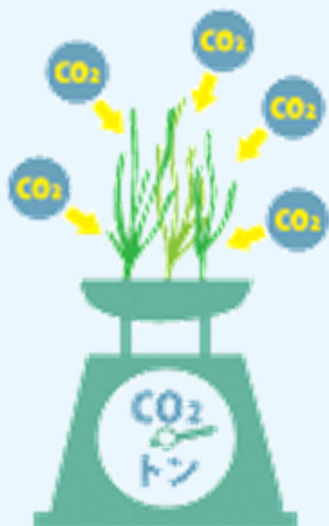


ヤシ殻で出来たシートにアマモの種子をはさみ込んで、海底に設置します。





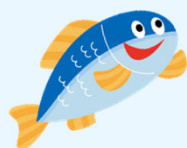
福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度



福岡市では、ブルーカーボン生態系としてのアマモ場の価値に着目し、令和2年10月に「**福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度**」をスタートしました。

この制度では、博多湾のアマモ場などの藻場が吸収・固定したCO₂量をクレジット化し、「博多湾ブルーカーボン・クレジット」として販売しています。

クレジットの販売収益は、博多湾NEXT会議によるアマモ場づくりなど、博多湾の環境保全創造の取組みに活用しています。



クレジットを購入することで、《**博多湾の環境保全創造**》の取組みへの支援にも繋がるんだって！

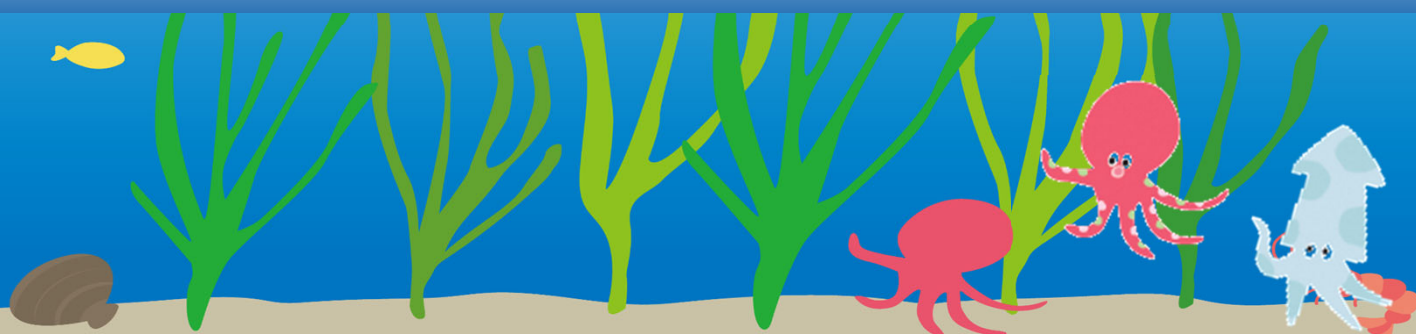


FUKUOKA CITY
博多湾
ブルーカーボン
オフセット

博多湾の環境保全創造活動に参加しませんか？

博多湾をきれいにしたい、アマモ場づくりに参加してみたい、など少しでも博多湾の環境に関心を持っている方！

博多湾の豊かな環境を未来へ引き継いでいくためには、皆さんの力が必要です。博多湾の環境を保全創造する活動への貢献、支援の方法は色々あります。ご興味がある方は是非、HPをご覧ください。



1 アマモの場づくりなどの活動に参加したい

>>> **博多湾NEXT会議**

https://www.city.fukuoka.lg.jp/kowan/kankyotaisaku/shisei/hbn_index.html

2 カーボン・オフセットに取り組みたい


>>> **「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」**

https://www.city.fukuoka.lg.jp/kowan/kankyotaisaku/shisei/hbn_zm.html

3 「海のゆりかご」アマモ場づくり活動を応援したい

>>> **ふくおか応援寄付（ふるさと納税）**

https://www.city.fukuoka.lg.jp/zaisei/ouen-kifu/shisei/kihu/kihu_top.html



実際に活動に参加するだけでなく、クレジットの購入やふるさと納税でアマモ場づくりを応援できるんだ！



遠くにおいても、博多湾の環境保全に協力できるんだね。

【出典】

国土交通省港湾局「海の森 ブルーカーボン」

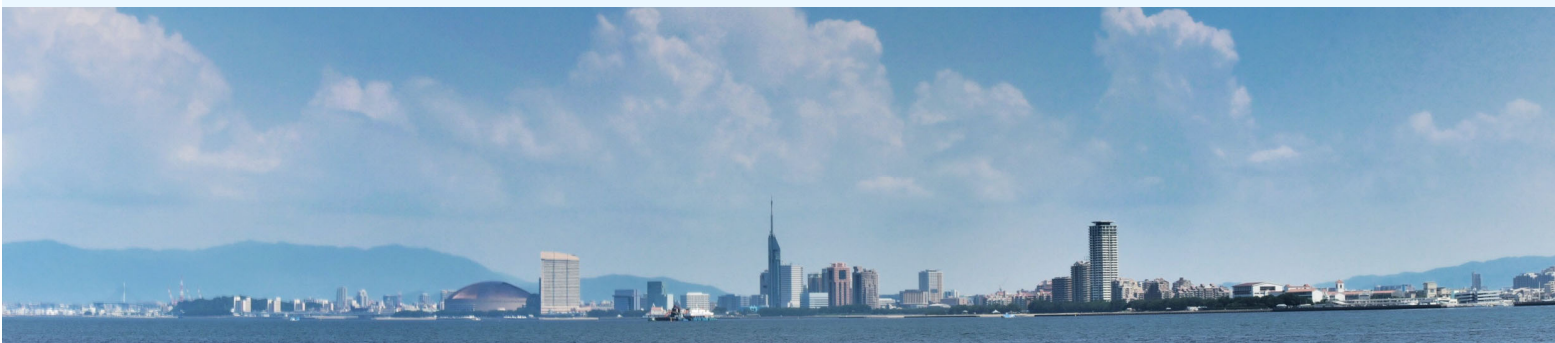
<https://www.mlit.go.jp/kowan/content/001616134.pdf>

福岡市「博多湾NEXT会議」

https://www.city.fukuoka.lg.jp/kowan/kankyotaisaku/shisei/hbn_index.html

福岡市「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」

https://www.city.fukuoka.lg.jp/kowan/kankyotaisaku/shisei/hbn_zm.html





福岡市港湾空港局みなと環境政策課

令和4年(2022年)3月 作成

令和6年(2024年)4月 更新

〒812-8620 福岡市博多区沖浜町12-1 博多港センタービル

TEL 092-282-7178 FAX 092-282-7771